

ピースフェスタ 2021 の報告

8月5日から7日にかけて開催した“ピースフェスタ 2021”の報告をいたします。

イベントの自肅要請がいつ出るか、綱渡りのような危うい状況の中で支障なく開催出来たことは、奇跡的とも思えることでした。例えば、5日の歌語り。コロナ禍の中制限された入場者数50名をいかにして過不足なく満たすことが出来るか、入場予約の電話をいかに取りこぼしなく受けることが出来るか、が当面の課題となりました。そして当日、制限人数ピッタリの入場者を迎えることが出来ました。

また、イベントホールの展示は、5・6日両日にわたって、YMCAの学童保育の子供達(延べ66名)の学びの場となりました。

・8/4(水)前日の準備に協力してくれた方々です。(総勢35名) 市内のミッションスクールや大学のユースメンバーがほとんどでした



・8/5(木)歌語り

山本晴美さんの歌語りは入場者を50名に制限しての上演となりました。事前に可能な限りの情報発信を行い、予約を受け付けました。その甲斐あって、右上の写真のように、入場者を50人に制限することが出来、濃密な時間を共有しました。



・8/5(木)・6(金)YMCAの子ども達とのワークショップ(3回シリーズで開催)

30人近い参加者を二手に分けて、一方では、My C.メンバーが子供たちと共に、“アドボカシー”についての意見交換や、「平和アート」に一人ひとりの思いを込めて平和のメッセージを書き込むワークシ



ョップが行われました。

もう一つのグループでは、甲府Yメンバーが原爆の説明をしたり絵本の読み聞かせをしたりしました。



・8/7(土) 午前中で終了

実は、6日のイベント終了後に、県からイベント自肅要請が出たため、急遽7日の午前11時に展示会場を閉じて、片付けをすることになりました。突然の繰り上げ終了にもかかわらず、15名の協力者を得て午前中に解散する運びとなりました。

期間中に書き継がれた「平和アート」を全員で掲げてピースフェスタ 2021の閉幕となりました。

